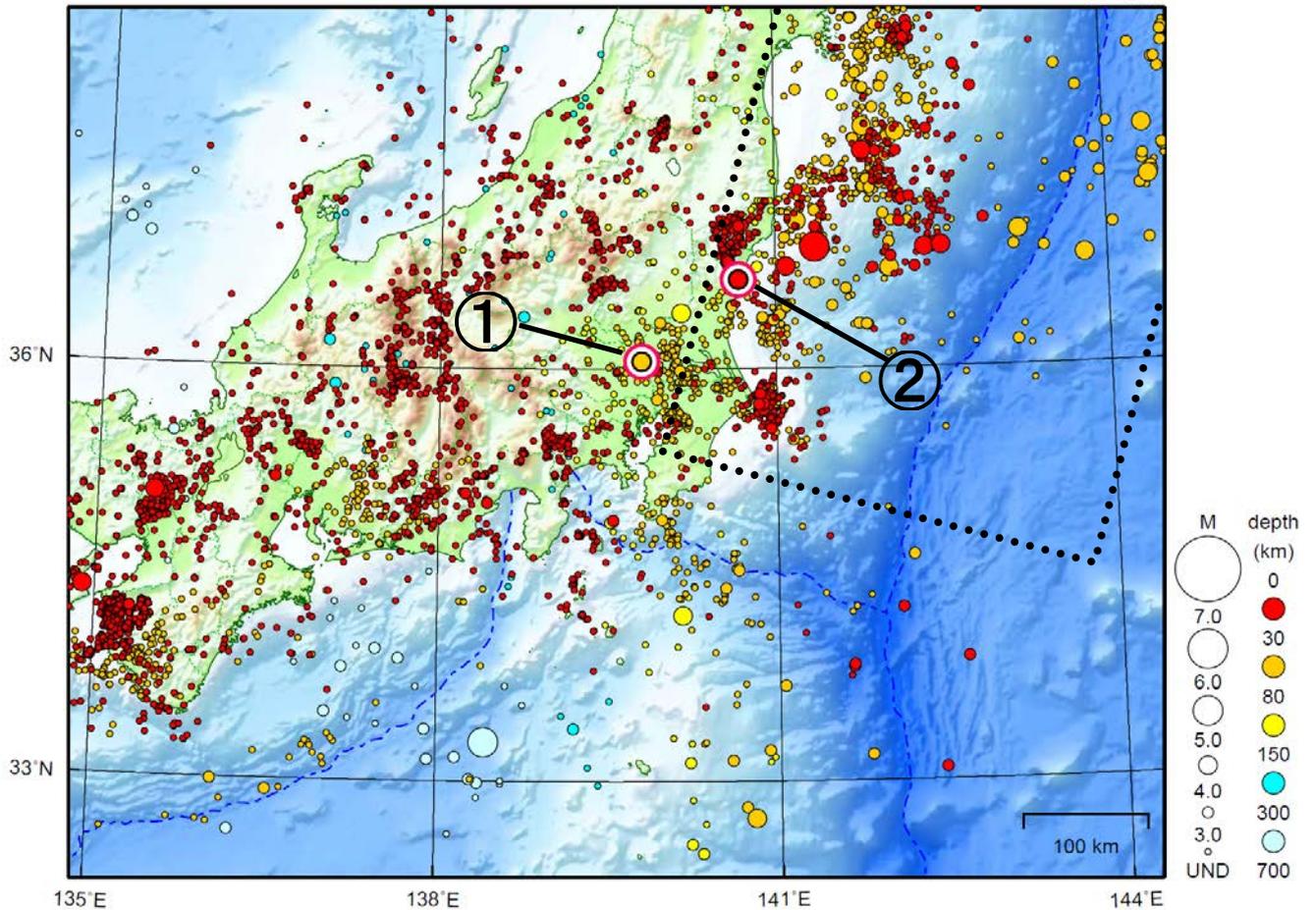


関東・中部地方

2014/08/01 00:00 ~ 2014/08/31 24:00

N=5320



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

① 8月24日に埼玉県南部でM4.3の地震（最大震度4）が発生した。

気象庁はこの地震に対して[茨城県南部]で情報発表した。

② 8月29日に茨城県北部でM4.2の地震（最大震度4）が発生した。

（上記期間外）

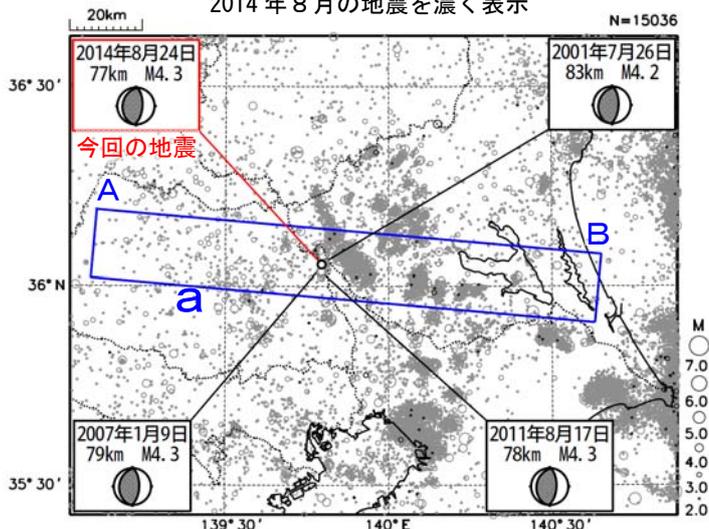
- ・ 9月3日に栃木県北部でM5.1の地震（最大震度5弱）が発生した。また、9月4日にはほぼ同じ場所でM4.5の余震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

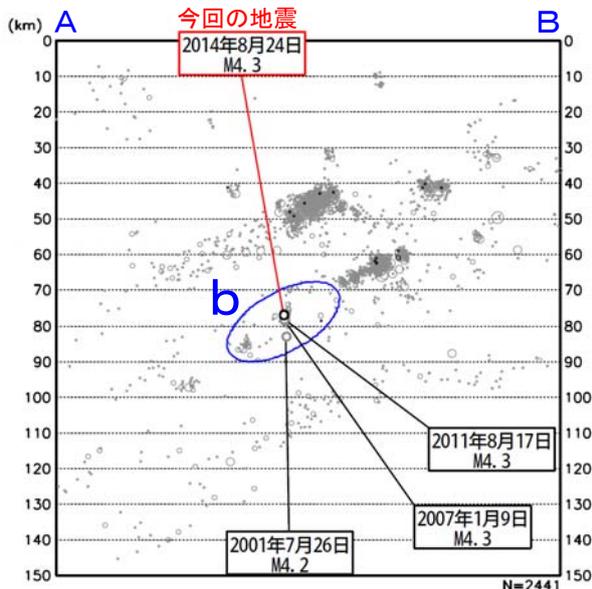
8月24日 埼玉県南部の地震

情報発表に用いた震央地名は「茨城県南部」である。

震央分布図
(1997年10月1日～2014年8月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2014年8月の地震を濃く表示



領域a内の断面図 (A-B投影)

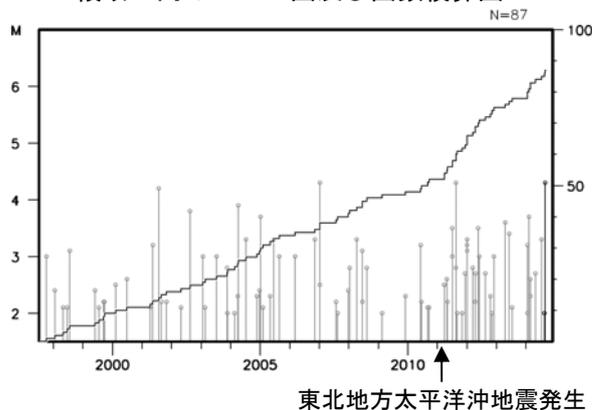


2014年8月24日17時26分に埼玉県南部の深さ77kmでM4.3の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

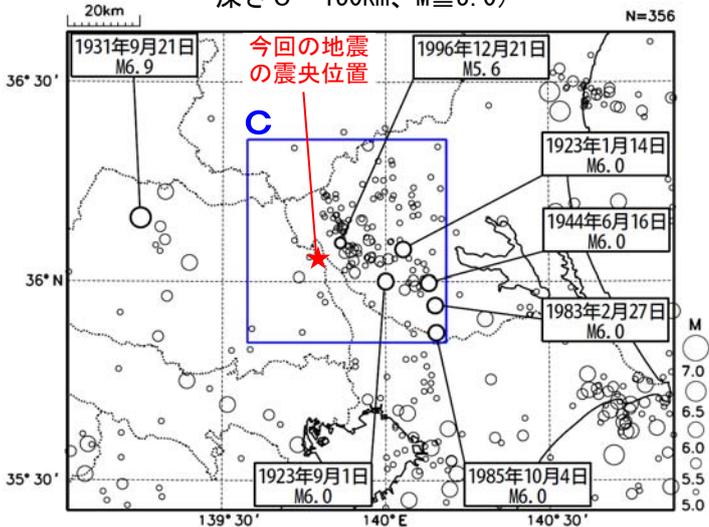
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震が時々発生している。また、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生以降、地震活動が以前より活発になっている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6程度以上の地震が時々発生している。1996年12月21日に今回の地震の震央付近で発生したM5.6の地震(最大震度5弱)では、負傷者1人、住家一部破損107棟などの被害が生じた。また、1931年9月21日に地殻内で発生したM6.9の地震(西埼玉地震)では、死者16人、家屋全壊207棟などの被害が生じた。(被害はいずれも「日本被害地震総覧」による。)

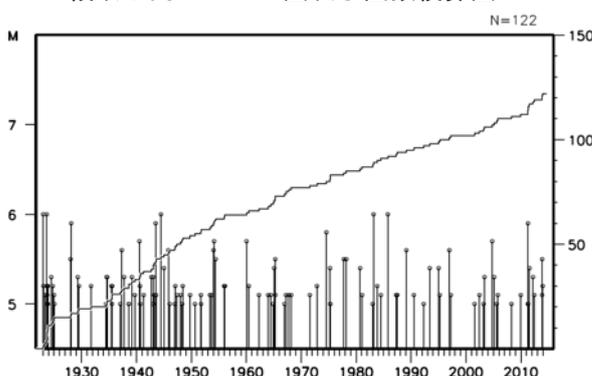
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1923年1月1日～2014年8月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

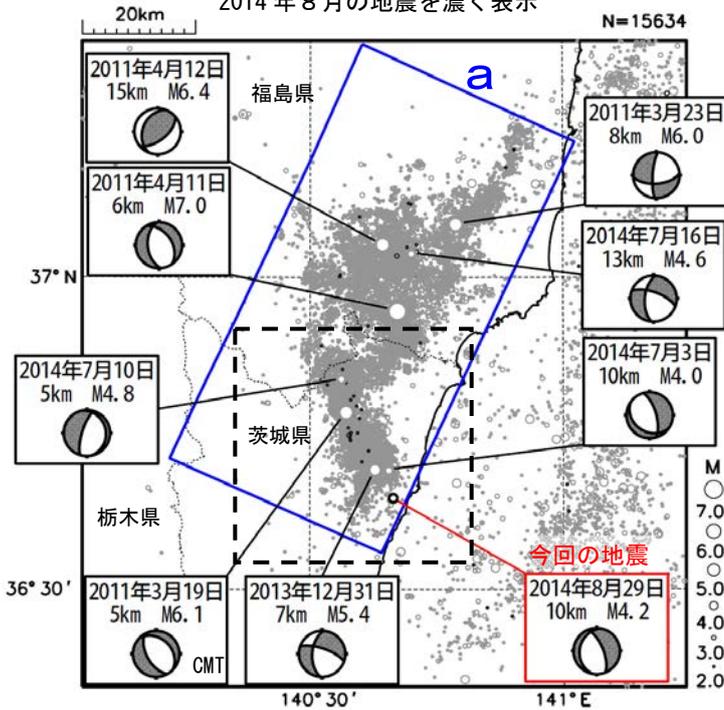


領域c内のM-T図及び回数積算図



8月29日 茨城県北部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2014年8月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
2014年8月の地震を濃く表示

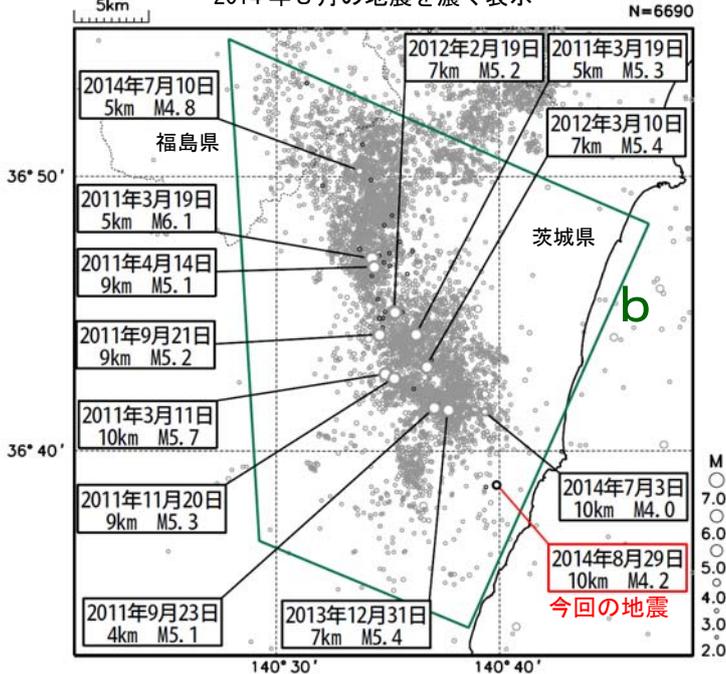


2014年8月29日18時19分に茨城県北部の深さ10kmでM4.2の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は東西方向に張力軸を持つ正断層型である。

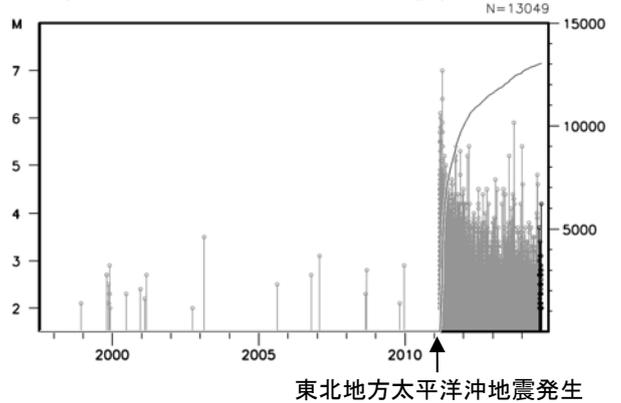
福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内(領域a)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生直後から地震活動が活発化した。その活動は、徐々に低下しているものの、先月(7月)、最大震度4を観測する地震が3回発生するなど、東北地方太平洋沖地震の発生前に比べて活発な状況が継続している。

今回の地震の震央付近(領域b)では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、M4.0以上の地震がしばしば発生しており、2011年3月19日には、M6.1の地震(最大震度5強)が発生している。また、最近では、2014年7月3日にM4.0の地震(最大震度4)、2014年7月10日にM4.8の地震(最大震度4)が発生している。

上図の破線矩形内の震央分布図
(2011年3月1日～2014年8月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
2014年8月の地震を濃く表示



領域 a 内のM-T図及び回数積算図



領域 b 内のM-T図及び回数積算図

